

令和5年度

楠隼の教育推進委員会
学校評価のまとめ

令和6年3月

鹿児島県立楠隼中学校・楠隼高等学校

もくじ

1	楠隼の教育推進委員名簿	1 ページ
2	評価の流れ	2 ページ
3	経営の概要	3 ページ
	(1) 令和5年度学校経営方針	
	(2) 経営方針に対する各部の努力点	
4	評価結果	7 ページ
	(1) 生徒による評価	
	(2) 保護者による評価	
	(3) 教職員による評価	
	(4) 評価の分析	
5	楠隼の教育推進委員からの意見及び質問	11 ページ

1 楠隼の教育推進委員名簿

○ 楠隼の教育推進委員（5人）

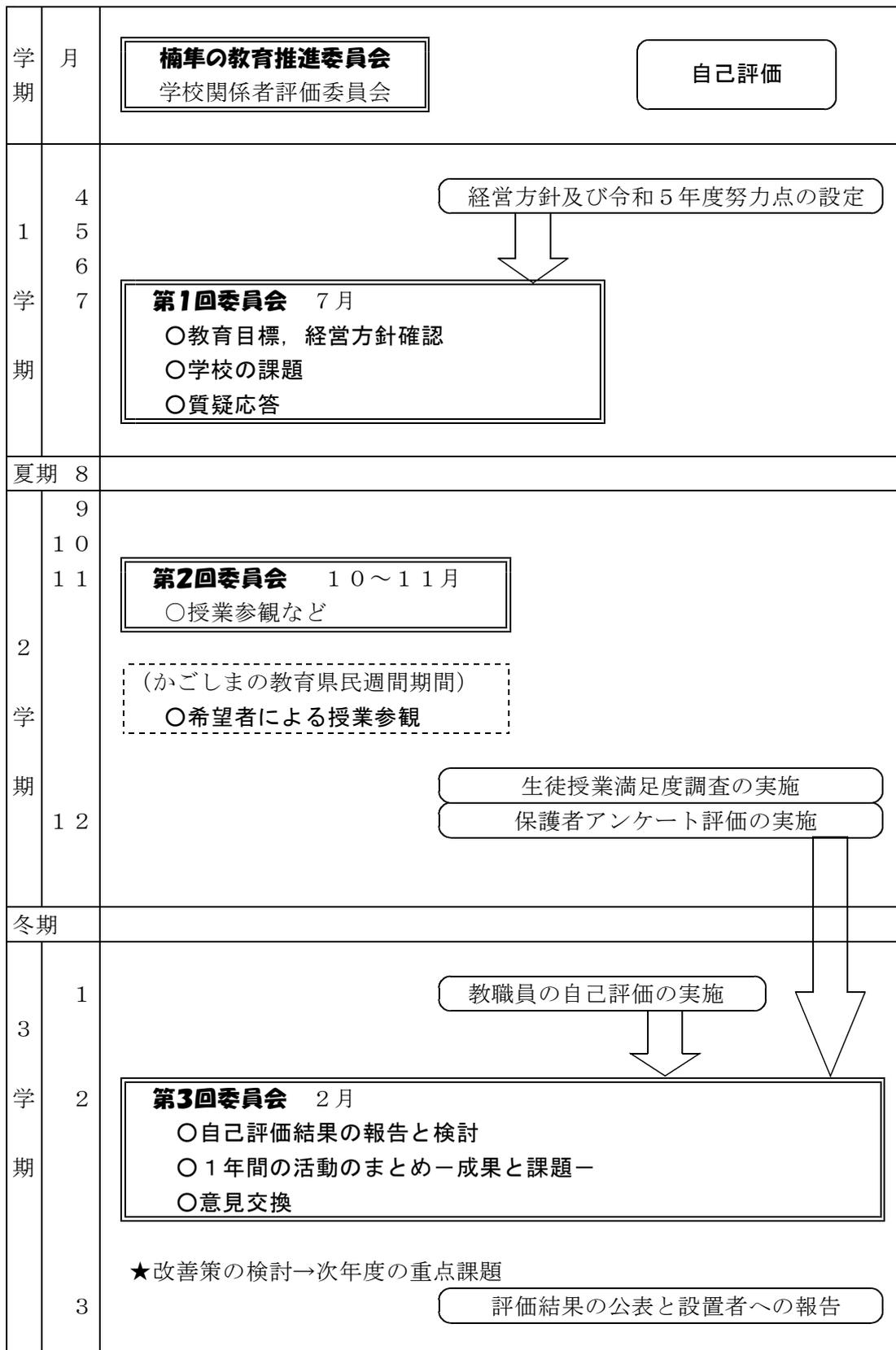
[敬称略]

氏 名	役 職 等
福 元 了	肝付町副町長
飯ヶ谷 香	J A 鹿児島きもつき高山支所長
畠 野 裕 昭	高山小学校校長
有 村 哲 郎	高山中学校校長
川 原 洋 文	P T A 副会長（中學會長）

○ 事務局（管理職・中高主任等 16人）

氏 名	役 職 等
徳 留 敏 郎	校長
上 野 宏 樹	教頭（中学）
大 山 和 也	教頭（高校）
迫 田 健一郎	事務長
松 山 和 朗	教務主任（中学）
村 上 武 利	教務主任（高校）
喜 入 綾 乃	進路指導主任（中学）
武 富 幸 司	進路指導主任（高校）
佐 伯 侑 哉	生徒指導主任（中学）
上 富 健 司	生徒指導主任（高校）
屋 田 愛	保健主任（中学）
木 脇 美 帆	保健主任（高校）
黒 石 遼 也	広報戦略部主任（中学）
井 上 敬 介	広報戦略部副主任（高校）
檜 柑 奈々恵	栄養教諭
宮 田 直 彦	舎監長

2 評価の流れ



3 経営の概要

(1) 令和5年度学校経営方針

ア 教育目標

日本国憲法及び教育基本法 の精神にのっとり、自己を律し、学を修め、他者を益しながら、生涯を通じて主体的な態度で社会や人生を切り開いていく人材を育成する。

イ 中高一貫教育の理念

全寮制中高一貫男子校として、学校と寮で6年間の計画的、継続的な教育を推進し、切磋琢磨する仲間づくりを通じて、全人教育と創造的知性の育成を求める。

ウ 教育方針

- (ア) 「大志・叡智・至誠」の校訓のもと、中高一貫教育校として、全職員が率先垂範、一致協力して教育目標の達成に努める。
- (イ) 「人権教育は全ての教育の基本である」という認識のもと、様々な人権問題について正しい認識と理解を深めるとともに、全ての教育活動において人権教育の一層の充実を図る。
- (ウ) 伝統や文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度の育成に向けて、体験活動や郷土教育等、特色ある教育活動を推進し、地域の信頼と期待に応える。

エ 本年度の努力目標

教科指導、進路指導、生徒指導等すべての教育活動において、中高6年間を見通し、相手意識をもって指導を行う。

- (ア) 中高6年間を見通した教科指導及び進路指導の充実
- (イ) 生徒指導の充実（人間力を伸ばす教育）
- (ウ) 服務規律の厳正確保
- (エ) 入口（募集定員）の確保
- (オ) 新たな方向性に対する想定・検討・準備

(2) 経営方針に対する各部の努力点

部	努力点	具体策
教務	1 より充実した学校生活を送ることができるように教育課程や行事の工夫・改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・より充実した教育課程・行事計画等を編成できるようにする。 ・各部会のまとめ役として運営委員会を活用する。各部署との連携を深め、全職員でのよりよい学校作りを目指す。
	2 学校と寮で連携しながら、学習環境を充実させ、生徒の学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事実施時の校時や時間割を工夫して授業が計画的に行われ、寮の学習指導が滞らないよう工夫する。 ・授業内容を充実させるために、考査問題の検討会や習熟度別授業、授業評価等を計画的に行う。
	3 中高一貫教育の利点を生かしながら生徒の学力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力推移調査等の結果を踏まえながら、学校の目標を突破できるように、より効果的なカリキュラムの改善を図る。 ・中学部、高校部の連携を強め、事後対応ではなく、事前対応がしっかりとできるようにする。
	4 地域や周辺小中学校との協力体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・肝付町の地域支援委員会等と連携することにより、農業漁業民泊体験等の行事の充実を図り、地域との連携を深める。
	5 諸帳簿の公正な記録と厳正な管理をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導要録を含めた全ての公簿及び公的記録について、厳正な管理・保管に努める。 ・校内LANにより情報の活用と共有化を進めながら、個人情報の厳正確保を徹底する。

部	努力点	具体策
広報戦略	1 広報活動の内容や方法を工夫して、志願者数の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの広報実績を踏まえながら、県内外から生徒募集する広報戦略を検討し、効果的な広報に努める。 中学校等への効果的な情報発信をするため、生徒募集に関する方法や説明の工夫に努める。
進路指導	1 中高一貫教育校として、6年間または3年間を見据えた進路指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 中高一貫教育校の利点を活かした深化学習とその定着を図る教育課程・進路企画・行事を編成する。 授業評価の満足度が平均9割となるように、目標のはっきりとしたメリハリある授業の展開に努める。理想とする進路指導の実現には授業力向上が不可欠であるという意識をしっかりともつ。
	2 難関大を含めた国公立大学の合格指標の実現に力を尽くす。	<ul style="list-style-type: none"> 学校と寮での学習指導により確実な学力の定着を図る。課外等を効果的に活用し、難関大入試にも着実に対応できる高い学力を獲得させる。 入試問題を意識した実力考查を実施する。
	3 高い進路意識を持ち、自ら積極的に学習に臨む姿勢を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある課題研究活動やトップリーダー教室、進路講演会、大学出前授業などの進路意識の高揚を図る企画に加え、大学・学部・学科研究を発達の段階に応じて計画的に行う。
	4 教師の授業力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業、授業満足度調査、教科ごと問題作成検討会等の校内研修を通して、授業力の向上を図る。
寮務Ⅱ (学習)	1 学習習慣の確立に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上は学習習慣の確立が不可欠であるという前提に立って、時間を大切にして学習に取り組む雰囲気を形成する。 学習習慣の確立のため、寮生活の時間厳守を徹底し、学習指導員による指導の充実や学習の徹底をはかる。(授業指導計画どおり展開)
	2 難関大学への対応ができる学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 中間目標の達成に向けて、目標の明確化したメリハリのある学習指導がなされるよう、適切な学力分析や対策の研修や見届けを十分に行う。 ○高校－国公立大6割，うち難関2割 対外模試平均偏差60（3年次） ○中学－国公立大7割5分，うち難関2割5分 対外模試平均偏差58
	3 学力差や学力の個別化に対応するシステムを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 週確認テストの計画的な運用と個別カルテについて、学校と寮での共有化を図る。 学習進度の速い生徒には寮ではタブレットを活用した東進ハイスクールのコンテンツ、市進ホールディングスのコンテンツを活用させる。

部	努力点	具体策
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を図る。	・学校・寮の全教育活動において全職員一体となって、共通理解・共通実践を図り、指導を行う。
	2 心の触れ合いを重視し、積極的な生徒指導に努める。	・アンテナを高くし、生徒一人一人の変化や姿に注目し、積極的な生徒指導を推進する。 ・教諭個々のカウンセリングマインドを育成する。
	3 生徒一人一人が存在感を持ち、共感的な人間関係を育める環境づくりに努める。	・切磋琢磨しながら、豊かな集団生活が営まれる学校・学級、学校・寮の教育的環境を形成する。
	4 中高一貫教育校として、発達段階に応じた計画的・系統的な指導の充実を図る。	・各学年の発達段階に応じた指導を行い、異年齢集団の中で望ましい人間関係を形成できる集団づくりに努める。
	5 いじめの事前防止、早期対応を徹底する。	・いじめは絶対に許さない、許されない姿勢を学校全体で共有し、切磋琢磨する中で他者を思いやれる情操の育成に努める。
	6 心身に不安を抱えた生徒の早期発見と支援を図る。	・学級担任・学年・各分掌・寮スタッフとの連絡を密に図り、教育相談等の組織的な取組を通して、問題の予防・早期発見・早期解決に努める。 ・学校職員、寮職員で個々の生徒の状況を丁寧に確認する。 ・課題のある生徒については、適切な時期に家庭とも密に連絡を取り合い、必要に応じて家庭の支援をもらう。
保健	1 生活リズムを確立させる。	・全寮制の特徴を活かし、起床・就寝を含めた保健指導を行い、規則正しい生活のリズムを身に付けさせる。
	2 安全で衛生的な学校環境を形成する。	・定期的な安全点検に加え、清掃指導の徹底により、公共心の育成と豊かな情操を育て、校庭や校内の美化に努める。
	3 健康意識を向上させる。	・健康診断や体力テスト等の実施、食育を通して、自己の健康状態や体力等を把握し、その改善・向上に努める。
	4 防災意識を向上させる。	・防災・避難訓練を実施することで、防災意識を向上させ、危機管理ができる生徒を育成する。
	5 健康相談を推進し、生徒一人一人が悩みや課題を解決できる力を育成する。	・諸検査や健康相談等を通して、生徒個々の心身の健康状態を把握し、適切な指導と改善に努める。
食育	1 食生活への理解を深め、望ましい食生活の習慣化を図る。	・職員や生徒会、寮組織による点検活動を行い、手洗い等を徹底し、衛生保全に努める。 ・楽しく穏やかな食事の雰囲気をつくり、豊かな人間関係づくりに努める。

部	努力点	具体策
寮務 I (生活)	1 寮則を遵守し、よりよい生活習慣を確立して、仲間づくりを推進する場とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間厳守をむねとし、規則正しい生活習慣の確立に努め、知力・体力ともに充実させる。 ・舎監の指導の下、寮職員の共通理解を図り、一人一人の寮生の生活を見守りながら、見届けをしっかりと行う。 ・朝の時間を点呼・身支度・朝食・諸準備、登校の流れをきちんと進め、帰寮後の風呂・夕食・学習指導・就寝の流れを確立する。 ・食育の場として栄養教諭の指導の下、安全・安心なおいしい食事を提供する。
	2 寮生徒会を運用し、寮生活について自分たちで考えさせることで規則の遵守の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心とした話し合いができるように寮務部職員が事前・事後の指導を徹底する。 ・寮務部は寮生徒会の活動状況の支援を行う。 ・オリエンテーションにより規則を十分理解させる。
	3 棟単位や班単位での活動をととして、社会性・人間性の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・寮行事への参加等を通じて、仲間づくりとともに、地域社会との連携を深める。
	4 保護者との連携や連絡を密にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報発信は、定期的に学校から郵送する。その中に寮生活の様子のわかる情報も添付する。 ・ホームページでも寮生活の活動の様子を随時紹介する。
	5 個別相談を随時実施し、充実した寮生活が送れるようにケアをしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・舎監による生徒の相談を随時行う。

4 評価結果

(1) 生徒による評価

4：そう思う， 3：少しそう思う， 2：思わない， 1：全く思わない

① あなた自身のことについて答えてください。			今回（令和5年度）					前回（令和4年度）				
			平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1
ア	あなたは授業に対し興味・関心をもち、意欲をもって参加している。	全体	3.5	54%	42%	4%	0%	3.5	52%	44%	4%	0%
		中学	3.6	63%	52%	5%	0%	3.5	52%	46%	1%	1%
		高校	3.4	43%	54%	3%	0%	3.4	51%	43%	6%	0%
イ	あなたは寮則を遵守しており、寮学習もきちんと取り組んでいる。	全体	3.4	46%	51%	3%	0%	3.3	45%	45%	9%	1%
		中学	3.4	45%	51%	3%	1%	3.3	42%	51%	6%	1%
		高校	3.5	47%	51%	2%	0%	3.3	48%	39%	11%	2%
ウ	あなたは校訓「大志」「叡智」「至誠」を日々のなかで意識している。	全体	2.6	14%	40%	36%	10%	2.5	11%	38%	40%	11%
		中学	2.7	11%	49%	35%	5%	2.6	13%	44%	34%	9%
		高校	2.5	17%	30%	37%	16%	2.4	9%	31%	46%	14%
② 授業の全体的な印象について答えてください。			今回（令和5年度）					前回（令和4年度）				
			平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1
エ	授業の学習内容や到達目標は明確で、それに沿って進められている。	全体	3.5	50%	46%	4%	0%	3.4	53%	39%	7%	1%
		中学	3.5	56%	39%	5%	0%	3.4	51%	39%	8%	2%
		高校	3.4	44%	54%	2%	0%	3.5	54%	40%	6%	0%
オ	授業では思考したり表現したりする力を高めるような活動がある。	全体	3.6	60%	38%	1%	1%	3.6	66%	32%	2%	0%
		中学	3.7	69%	30%	1%	0%	3.7	70%	28%	1%	1%
		高校	3.4	49%	48%	1%	2%	3.6	62%	36%	2%	0%
カ	授業の説明や解説等は分かりやすく、満足感が得られる内容である。	全体	3.6	53%	43%	4%	0%	3.4	52%	42%	5%	1%
		中学	3.5	55%	42%	3%	0%	3.4	50%	41%	6%	3%
		高校	3.4	50%	44%	5%	1%	3.5	53%	43%	4%	0%

昨年度比0.3以上プラスの場合「↑」、0.3以上マイナスの場合「↓」

(2) 保護者による評価

4 : と思う, 3 : 少し思う, 2 : 思わない, 1 : 全く思わない

		今回 (令和5年度)					前回 (令和4年度)						
		平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1		
ア	本学の建学の理念は, 日々の教育に生かされている。	全体		3.4	51%	40%	6%	3%	3.6	68%	25%	6%	1%
		中学	↓	3.4	53%	38%	6%	3%	3.7	74%	21%	4%	1%
		高校		3.4	48%	44%	5%	3%	3.5	61%	30%	8%	1%
イ	全国から生徒の集まる本校は, 様々な価値観の違いを乗り越え, 仲間づくりを推進させる場となっている。	全体		3.8	86%	11%	2%	1%	3.9	91%	6%	2%	1%
		中学		3.8	87%	10%	2%	1%	3.9	92%	6%	1%	1%
		高校		3.8	86%	12%	1%	1%	3.9	91%	6%	5%	0%
ウ	文化祭や体育祭などの諸行事に, 生徒が積極的に関わっている。	全体		3.9	90%	9%	1%	0%	3.9	91%	8%	1%	0%
		中学		3.9	88%	11%	1%	0%	3.9	90%	9%	1%	0%
		高校		3.9	92%	7%	1%	0%	3.9	92%	6%	2%	0%
エ	友人から多くの刺激を受けている。	全体		3.8	85%	10%	3%	2%	3.9	91%	8%	1%	0%
		中学		3.8	85%	10%	4%	1%	3.9	93%	6%	1%	0%
		高校		3.8	86%	11%	1%	2%	3.9	89%	10%	1%	0%
オ	生徒の動静(欠席・遅刻・早退等)に関する報告など, 保護者と連携がとれている。	全体		3.4	59%	26%	14%	1%	3.5	63%	24%	11%	2%
		中学		3.5	63%	21%	15%	1%	3.5	66%	25%	7%	2%
		高校		3.4	53%	33%	14%	0%	3.4	60%	24%	14%	2%
カ	それぞれの能力に応じて, 成績を伸ばす適切な学習指導がなされている。	全体		3.1	37%	39%	21%	3%	3.2	47%	31%	20%	2%
		中学		3.2	40%	39%	17%	4%	3.2	50%	28%	20%	2%
		高校		3.1	34%	40%	25%	1%	3.2	43%	34%	20%	3%
キ	熱心な進学指導がなされており, 生徒の可能性を伸ばしている。	全体	↓	3.2	44%	38%	15%	3%	3.5	61%	25%	13%	1%
		中学	↓	3.2	45%	35%	16%	4%	3.5	64%	23%	11%	2%
		高校		3.3	42%	43%	14%	1%	3.4	58%	27%	14%	1%
ク	寮は, よりよい生活習慣を確立させる場となっている。	全体		3.5	61%	28%	8%	3%	3.5	61%	29%	8%	2%
		中学		3.5	67%	21%	9%	3%	3.5	65%	25%	7%	3%
		高校		3.4	53%	38%	7%	2%	3.4	56%	34%	8%	2%
ケ	広報活動がよくなされており, 学校の様子が分かる。	全体		3.2	39%	42%	17%	2%	3.3	51%	33%	14%	2%
		中学		3.3	43%	43%	12%	2%	3.4	55%	34%	8%	3%
		高校		3.1	33%	43%	22%	2%	3.2	46%	32%	21%	1%

昨年度比0.3以上プラスの場合「↑」, 0.3以上マイナスの場合「↓」

(3) 教職員による評価

4 : そう思う, 3 : 少しそう思う, 2 : 思わない, 1 : 全く思わない

	今回（令和5年度）					前回（令和4年度）					
	平均	4	3	2	1	平均	4	3	2	1	
ア	多様な指導や相談の場面で、校訓「大志、叡智、至誠」の精神が、生徒たちに培われるよう努めているか。										
	3.2	25%	67%	8%	0%	3.3	32%	63%	5%	0%	
イ	学校の教育目標の具体化のために学年経営・学級経営を図っているか。										
	3.4	45%	50%	5%	0%	3.5	56%	39%	5%	0%	
ウ	自らの分掌業務の進行管理をしっかりと行い、他係との連携により、充実化と効率化を図っているか。										
	3.7	40%	60%	0%	0%	3.7	68%	32%	0%	0%	
エ	保護者との連携や連絡に努めているか。										
	↓ 3.4	42%	55%	3%	0%	3.8	84%	16%	0%	0%	
オ	地域や本校関係者・協力者との協力体制を構築できるよう努めているか。										
	↓ 3.3	37%	55%	8%	0%	3.6	63%	37%	0%	0%	
カ	（教務）諸帳簿の公正な記録と厳正な管理に努めているか。										
	3.8	77%	23%	0%	0%	3.9	89%	11%	0%	0%	
キ	（進路指導）高い進路意識を持たせながら、自ら積極的に学習に臨む姿勢を持つ生徒の育成に努めているか。										
	3.6	60%	40%	0%	0%	3.6	61%	33%	6%	0%	
ク	（生徒指導）生徒との心の触れ合いを重視するとともに、基本的な生活習慣を確立させるなど、けじめのある生徒指導に努めているか。										
	3.5	52%	43%	5%	0%	3.4	61%	22%	17%	0%	
ケ	（生徒指導）学校と寮での状況や変化を十分見守りながら、いじめの事前防止、早期対応を徹底できるよう努めているか。										
	3.6	57%	43%	0%	0%	3.7	72%	28%	0%	0%	
コ	（寮務）寮則を遵守させ、よりよい生活習慣を確立させて、仲間づくりを推進させる場とするよう努めているか。										
	3.2	30%	62%	8%	0%	3.3	53%	26%	21%	0%	
サ	（広報戦略）多様な機会を通じて、本校の特色ある教育活動の姿や生徒たちの様子を広く伝えようとしているか。										
	↓ 3.3	45%	40%	15%	0%	3.7	83%	6%	11%	0%	
シ	（保健指導）多様な指導の場面を通じて、生徒の健康意識や防災意識を向上させるよう努めているか。										
	3.3	37%	58%	5%	0%	3.5	61%	33%	0%	6%	
ス	（授業者）毎回授業の目標を明確に示し、生徒が意欲的に取り組む授業展開を図ったか。										
	3.4	37%	63%	0%	0%	3.6	63%	31%	6%	0%	
セ	（授業者）目標設定や生徒個々の状況に合わせて授業を展開し、最後には何を学習したかをよく理解させたか。										
	3.3	31%	69%	0%	0%	3.4	44%	56%	0%	0%	
ソ	（授業者）知識や技能をしっかりと身につけさせるとともに、思考したり、表現したりする力も高める授業であったか。										
	↓ 3.3	40%	54%	6%	0%	3.7	75%	19%	6%	0%	

昨年度比0.3以上プラスの場合「↑」、0.3以上マイナスの場合「↓」

(4) 評価のまとめ

ア 昨年度からの変動が大きかった項目（昨年度より0.3以上差があったもの）

(ア) 上昇した項目

なし

(イ) 下降した項目

- ① 【保護者】熱心な進学指導がなされており、生徒の可能性を伸ばしている。
(- 0.3)
- ② 【教職員】保護者との連携や連絡に努めているか。(-0.3)
- ③ 【教職員】地域や本校関係者・協力者との協力体制を構築できるよう努めているか。(-0.3)
- ④ 【教職員】(広報戦略)多様な機会を通じて、本校の特色ある教育活動の姿や生徒たちの様子を広く伝えようとしているか。(-0.4)
- ⑤ 【教職員】(授業者)知識や技能をしっかりと身につけさせるとともに、思考したり、表現したりする力も高める授業であったか。(-0.4)

イ 生徒、保護者、教職員の意識差が大きかった項目（平均差が±0.3以上）

(ア) 校訓について（教職員と生徒間の意識差：0.6）

- ↑ 【教職員】多様な指導や相談の場面で、校訓「大志、叡智、至誠」の精神が、生徒たちに培われるよう努めている(3.2)
- ↓ 【生徒】あなたは校訓「大志」「叡智」「至誠」を日々のなかで意識している(2.6)

5 楠隼の教育推進委員からの意見及び質問

- シリーズ宇宙学は9年目を迎える。最初に卒業した生徒の中で宇宙関係に進む人はいたか。
→ 具体的には把握していないが、大学院で勉強している生徒がいると聞いている。
- 楠隼の情報をあまり知らなかった。しかし、説明を聞いてみると良いことをしていると感じた。今後さらに広報戦略をしてくれることを期待したい。寮の強みの一つとして学習に取り組む環境を宣伝してよいと思う。
共学化について、現在の小学4年生以下が対象である。この機会を良いチャンスと捉えて小学校と協同で協議できればよいと思う。
宇宙学の取り組みは素晴らしい。今後どのような進路をたどるのか楽しみである。
- 先生方には感謝している。成績も上がっているので今後が楽しみである。要望として、学校の生活が分からない。ホームページで学校の様子を伝えているが、これまで通りの情報発信を行って欲しい。
- 推進委員を務めて何年か経つが、子供達は恵まれていると感じる。中身をもっと発信していけば、入学を希望する人も増えるのではないかと考える。
- 学校紹介に卒業生の現状や生の声を載せている学校もあるので、楠隼もそのようにできればと思う。
- 生徒による評価はプラスが多く、保護者や教職員による評価はマイナスが多い。それぞれの意識の差の原因はどのように把握しているか。
→ 職員の入れ替わりは要因のひとつである。4段階評価で4よりも3が昨年度より多いが、数値としては悪くない。むしろ2の回答が増えたところが気になる。
保護者に、どの部分が足りていないかは聞いていない。昨年度と比較したときに、4を付けている方が少ないので、昨年度と比較した取組を分析し、足りないところは保護者の意見を聞きながら改善したい。
- 保護者の評価イ「全国から生徒の集まる本校は、様々な価値観の違いを乗り越え、仲間づくりを推進させる場となっている」、ウ「文化祭や体育祭などの諸行事に、生徒が積極的に関わっている。」、エ「友人から多くの刺激を受けている。」の評価が高い。あとは生徒の評価が高くなれば楠隼はもっと良い学校になるのではないかと期待している。
- スクール・ポリシーの策定案について、大学との連携がもっと具体的に分かるとよい、表現方法についてのアドバイス、策定後でも見直しがあるのであれば、「共学化」や「通学生受け入れ」についての内容を入れてもよいなどの意見が出た。